



岩永やす代

いわながやすよ

東京・生活者ネットワーク政策委員/
国分寺市議会議員



岩永 やす代

検索



プロフィール

■1971年 国分寺市生まれ。国分寺市立第三小学校、第二小学校、第五中学校に学ぶ■90年中央大学杉並高校卒業 ■94年 中央大学文学部文芸学専攻卒業。私立高校勤務■97年 イギリスに1年間留学。帰国後、高校生の海外留学をサポートする仕事に従事■2006年 生活クラブ生協加入■10年 こひつじ園 年少クラス役員／国分寺・生活者ネットワーク政策担当■11年 国分寺市議会議員に初当選■15年 2期目当選■17年 文教子ども委員会委員長／東京・生活者ネットワーク政策委員長■19年 3期目当選。子育て、教育、人権、環境問題等身近なまちづくりの課題に取り組んできた●国分寺市東恋ヶ窪在住 ●家族：夫、子ども

岩永やす代にじいろレポートNo.2 2021年3月25日発行

発行責任者 加瀬よりえ

〒185-0003 東京都国分寺市戸倉1-8-43 千歳サンライズ206

TEL : 042-328-1885 FAX : 042-328-1878

e-mail kita2@seikatsusha.net https://iwanaga.seikatsusha.me/

東京からジェンダー平等を実現！



東京・生活者ネットワークが毎月11日におこなっているフラワーデモ。2/11 国分寺駅南口にてアピール

性別で差別されない、誰もが自分らしく暮らせる社会を実現します

依然として解消されない女性差別

各国における男女格差をはかる「ジェンダー・ギャップ指数2020」によると、日本は153カ国のうち121位で先進国の中では最下位です。女性差別撤廃条約締結国189カ国中114カ国が批准している「選択議定書」を日本政府はいまだに批准していないことも問題です。相次ぐ政治家の女性蔑視発言をはじめ、コロナ禍での女性の貧困や自殺増加など状況はひびついています。

調査から見えてきたこと

東京・生活者ネットワークは2018年に行った東京に暮らす女性100人のアンケート調査では、働く女性の厳しい実態や高齢女性の低い年金問題などが浮き彫りになりました。また、2020年2月に行った「女性の安全・安心自治体調査」では、セクハラや性暴力、DV等について当事者へのヒアリングをもとに、自治体の女性施策を比較検証、生活者ネットワークが理想とする社会像を100点満点とすると、最高が54点、平均34点という厳しい結果となりました。

岩永やす代がすすめるジェンダー平等政策

◆都内すべての自治体でセクハラ防止指針を作成し公開する。―DVシエルトの拡充と加害者の再発防止更生プログラムを実施、暴力の連鎖を食い止める。◆東京都の性教育の手引きを見直し、国際基準の性教育と自己防衛プログラムを導入。―中学校でデートDV防止講座を実施する。

- ◆ 審議会等女性委員の比率50%をめざす。
- ◆ 東京都にパートナースhip制度を創設する。
- ◆ 同一価値労働同一賃金により男女格差を是正する。
- ◆ 女性差別撤廃条約に基づき選択的夫婦別姓制度を実現する。

岩永やす代さんを応援します

- 末松 義規
- 大河原 まさこ
- 進藤 久美子
- 澤登 早苗
- 豊泉 惣子
- 増田 和美
- 今中 哲二
- 竹信 三恵子
- 中川 李枝子
- 三木 由希子



樋口 恵子

評論家
コロナが分断した人間関係を、生活者ネットワークの力でより強くより多く結び直してください。大東京といえどもそこに生まれ、そこに育ち、そこに生きる人にとっては「ふるさと」です。生命の基盤としてのふるさと東京で暮らす喜びをつくってください。

岩永やす代さんとともに活動しています



小坂 まさ代

国分寺・生活者ネットワーク政策担当
岩永やす代のバトンを受け市政に挑戦します



高瀬 かおる

国分寺市議会議員
こはまかおる
国立市議会議員



山内 れい子

都議会議員
東京・生活者ネットワーク代表委員

生活者の視点が政治を動かす！

水・食・環境の問題に 生活者ネットワークは先進的に取り組み続けています

ヤジにめげず、飲み水の安全と水循環を提案し続けました！



池田 あつ子

都議就任期間1985年～1997年

今から44年ほど前、子育て中の私は、洗剤の泡があふれかえっている野川をなんとかできないものかと考えていたところ、野川の水質検査をしていた「石けんを使う会」に出会い、この泡は石油を原料とする合成界面活性剤(合成洗剤)が原因と知りました。野川は多摩川に合流し、東京都の水道水源として多摩川浄水場に取り込まれ、飲み水となって私たちの台所に帰ってきます。

1985年私たちは、水道水の水質検査を続けるうち発がん性のあるトリハロメタンが検出されたことを受け、東京都に安全な飲み水の確保に関する請願を行いました。そしてその年、私は北多摩2区で生活者ネットワークの最初の都議会議員となりました。

当時の都の水道政策は、ダム建設や全域配水管布設に偏ったものでした。都議会で水道水の安全性や水質、地下水の確保と水循環などについて質問すると「都議会で台所を持ち込むな！」とヤジが飛んできました。飲み水の視点からの水道政策の審議は都議会で初めてのことでした。ヤジにめげず、生活者の視点で提案を続け、92年には水質基準改定が行われ水質年報に毎年の測定結果も公表されるようになりました。99年に都は水循環マスタープランを策定し、国は2016年に水循環基本法を施行しました。

水と共に食の安全は、生活者ネットワークの政策の基本です。1986年のチェルノブイリ原発事故後、食の不安が広がり、89年に多くの市民と協力して55万筆の署名を集め、「食品安全条例」制定の直接請求を都に行いました。残念ながら否決されましたが、池田さんはその後も提案を続け、食品安全確保対策の基本方針が策定されました。

この間、日本の食料自給率は40%を割り、輸入食品が大量に出回り、食の安全への不安が急速に高まっていました。そこで私は、2002年3月の予算特別委員会で「首都東京にこそ食品安全の条例が必要ではないか」と直接知事に訴え、「条例を設けることは意義がある」との答弁を引き出しました。議員提案が取り上げられるのは稀なことですが、04年に「東京都食品安全条例」が制定されました。その後、都内の遺伝子組み換え作物の作付け実験を水際でくいとめたり、米国牛肉BSE(牛海綿状脳症)問題では、国産牛の全頭検査を継続させたりしました。

直接請求から15年、「東京都食品安全条例」制定が実現しました！



大西 ゆき子

都議就任期間1997年～2009年

この12年、地球環境問題はますます深刻になっています。プラスチックごみや「香害」という新たな問題も明らかになりました。マイクロプラスチックによる海洋汚染が地球規模で広がっていることから、都が「レジ袋ゼロ」を宣言。私は、都庁内のコンビニや食堂・売店などで使い捨てプラスチックの使用を禁止することや会議でペットボトルの飲み物を提供しないことを2019年に提案しました。また、「マイボトル給水機でペットボトルを減らそう」と、都内各所に水飲み場を設置することも要望しました。

2020年、高濃度の有機フッ素化合物(PFOS、PFOA)が、多摩地域の水源井戸で検出され、不安が広がっています。私は、取水停止井戸の検査や汚染拡大防止のために、揚水を継続し汚染除去と活用を図ること、河川や地下水・湧水の継続的な検査と水質汚染の原因究明を都に求めました。

地球規模の環境問題が深刻化、足元からの改革を提案！



山内 れい子

都議就任期間2009年～2021年

食と水に関わる政策は命の基本です！

これまで時代の先取りをして提案してきた安全性を求める政策を、私もすすめていきます。国分寺・国立には湧き水や川、用水など都市としては水源に恵まれた環境です。子どもたちに引き継ぐために、水と緑を守ります。

岩永やす代

都議会の市民の議席をつなぎます



岩永やす代の基本政策

安心・共生・自治 のまちをつくる

必要なのは住まいと職、医療・介護・教育の充実です

コロナ対策をすすめる

- すぐ対応できるPCR検査体制をつくる
- 医療体制を徹底強化と公衆衛生専門の人材を育成
- 失業・収入減で困っている人に生活給付金を

子ども・若者の今を大切に！

- 条例を生かし、子どもの権利を保障する
- 子どものSOSを受け止めるオンブズパーソン制度をつくる
- 児童相談所の設立を支援し増設する

ひとりにしない介護～超高齢社会もこわくない！

- 介護する人をささえるケアラー支援条例をつくる
- 医療、介護のチームケアを確立し、在宅療養生活を支援する
- 住まいのシェアで、若者と高齢者が支えあうコミュニティづくりをすすめる

性別による差別をなくし、暮らしやすい社会をつくる

- セクハラ・DV・性暴力のない東京をつくる
- シングルマザーの支援を強化する
- LGBTQの理解啓発をすすめ、東京都にパートナーシップ制度を創設する

多様性を認め合う社会にする

- 障がいのある人もない人も共に働く場をつくる
- 外国人差別をなくし、東京を多民族共生の世界都市に！
- 地域ニーズを掘り起こし多様な仕事と働き方を創造

ストップ地球温暖化と環境汚染

- 使い捨て容器ゼロ。リユースの推進で脱プラスチック
- 原発ゼロ！地域分散型・再生可能エネルギー100%をめざす
- 香料による化学物質過敏症(香害)をなくす

都市農業と食の安全を守る

- 地場野菜を東京都が買い取り学校給食に提供、無償化を実現する
- 遺伝子組み換え・ゲノム編集食品の流通をストップ！
- 生産緑地を活用し、障がい者団体など農業の担い手となる農福連携をすすめる

いらない大型公共事業はストップ

- 東京外郭環状道路は事故補償と大深度法の見直しで凍結を！
- リモート時代に逆行するリニアは中止する
- 都心低空・羽田新飛行ルートは撤回へ

水害・地震・感染症に備える災害対策で安心・安全を

- 緑化をすすめるグリーンインフラで洪水に備える
- 避難所はテントとベッド配備でプライバシーと感染症対策
- キッチンカー・段ボールベッド・トイレトレーラーの防災3点セットの配備をすすめる

必要なのは働く議員！都議会を市民目線で改革する

- 都議会の運営を見直し、議会基本条例を制定する
- いつでも都民のために働く通年議会を実現する
- 女性の声は新しく強い力！都議会に女性議員を増やす

東京・生活者ネットワークは都議会議員・市・区議会議員合わせて41人の女性議員を持つ地域政党(ローカルパーティ)です。

生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員は交代制(ローテーション)
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパと、ボランティアで